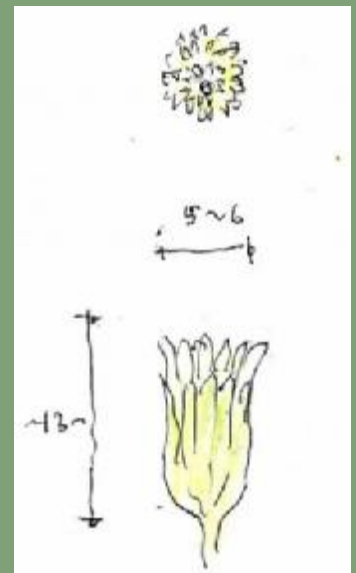
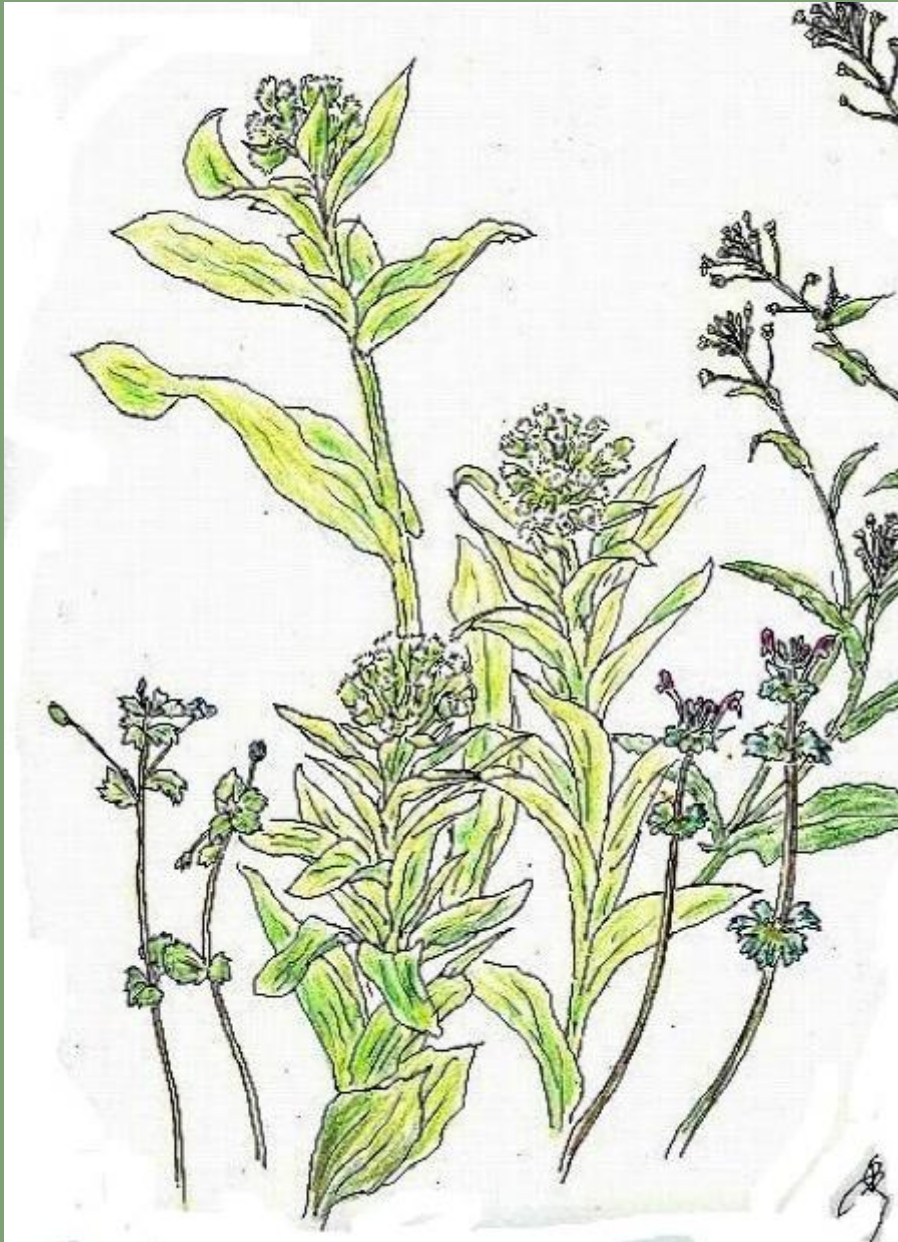


見沼たんぼ・野草スケッチ「フキ・フキノトウ」

科名： 菊(きく)科 フキ属

花言葉 | 公平、待望、愛嬌、真実は一つ、仲間、.



フキノトウとホトケノザ 14.3.28 タケノコ公園脇空き

P.S. 一句 足元にオットふっくら落のとう



### 「フキ」

原産地：日本原産、北は樺太から朝鮮半島や中国大陸でも見られる。

茎：地上には伸びず、地中で地下茎（生姜やアヤメのような根塊）となり横に伸びる。

葉：若干厚みがあり扁平で細長く、つや消しのような表面をしている。草丈は、15 - 50cm 程度

花期：2 月中～3月始め

花：早春、葉の伸出より先に花茎が伸び出す。これを落の臺(フキノトウ)と呼んでいる。雌雄異花であり、雌花は受粉後、花茎を伸ばし、タンポポのような綿毛をつけた種子を飛ばす。開花時の草丈は5-10cmだが、結実時の草丈は80cmになるものもある。

花色：白色

山菜として：独特の香りがあるふきのとうや葉柄、葉を食用とする。

ふきのとう(落の臺)蕾の状態で採取され、天ぷらや煮物

・味噌汁・ふきのとう味噌に調理して食べられる。

葉柄は、重曹や木の灰などを入れた熱湯で灰汁（アク）を抜いて煮物や炒め物などにする。ウィキペディアより